

talk

04 11月9日(月) 18:30~ (20:00頃終了予定)

## 不便益の発想でサインデザインはどう変わる?

講師 川上 浩司

京都大学情報学研究科 特定教授  
京都先端科学大学 教授  
不便益システム研究所 所長



1987年京都大学工学部卒業  
1989年同大学院工学研究科修士課程修了、同年岡山大学工学部助手  
1998年京都大学情報学研究科助教授  
2014年同大学デザイン学ユニット(後に情報学研究科)特定教授、京都先端科学大学教授を併任  
博士(工学)  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/explore/professor/06\\_kawakami.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/explore/professor/06_kawakami.html)

著書に『不便から生まれるデザイン』(2011)、『不便益という発想』(2017)、『不便益』(2017)、『不便益のススメ』(2019)など。  
計測自動制御学会(1991、2003、2013)ヒューマンインタフェース学会(2010、2018)、自動車技術会(2014)で論文賞受賞。日本感性工学会(2020)で出版賞受賞。  
<http://fuben-eki.jp>

サインデザインでは、わかりやすさや利便性の向上が常に求められているようです。では便利になったその先には、何が起きているのでしょうか?

「不便益：不便だからこそその益がある」を提唱する川上浩司先生による研究は、サインデザインに限らず情報を伝達するデザインにおける気づきや、新たな視点を感じさせるものです。

不便が生み出す豊かさは、今の時代にこそ必要かもしれません。川上浩司先生の講演とディスカッションに参加してみませんか。

### 参加方法

以下のURLをから参加登録をしてください。登録は11月7日に締め切りします。

<https://sda-forum.space/air/talk04/>

zoomミーティング参加用URLは開催日(11/9)の午前中にお送りいたします。

※ 登録についてのご注意

- ・SDA個人正会員：会員が所属する法人・企業から1会員あたり3名までご登録できます。
- ・SDA法人会員、賛助会員：9名までご登録できます。
- ・SDA以外の他団体、一般参加：参加費500円をご協力お願いします。登録サイトにてお支払いできます。
- ・SDA会員の方は無料で参加できますが、協賛金を一口500円から承っております。登録サイトにてお支払いできます。

主催：日本サインデザイン協会 セミナー委員会

問い合わせ先：sda@sign.or.jp